

高信頼性ICタグ

本当のID化はこれから

「光り玉」は無線技術によりセンサをID化してネットワーク化しようとするものです。その意味でパッシブのRFIDに比べて遥かに守備範囲が広いと言えます。それは問題解決能力に優れているとも言えます。

パッシブのRFIDも電子乗車券のようにIDトラフィックが多くリアルタイム性とセキュリティが強く要求され利便性が明確なものは今後も大いに普及していくと考えられます。ここで言う、IDトラフィックとは一日の読み取り回数とでも言ってよいでしょうか。ですから、たとえば年1回とかIDトラフィックが極めて小さく、リアルタイム性、迅速性が要求されないものはよく投資対効果を考えないといけません。

IDトラフィックが小さい場合でも、対象物が高価で、長年の信頼性が必要なID管理は是非RFIDにすべきと思います。バーコードでは偽造、変造して下さいと言っているようなものです。とにかく本当のID化は世の中これからでございます。